



しんろだより ~道~

秋田県立聴覚支援学校 進路指導部

令和2年3月10日発行

No.10



休まない

工夫

進路指導主事 幡宮 明

昨年3月、米大リーグマリナーズのイチロー選手が引退しました。イチロー選手は、いろいろな名言やルーティンが有名です。その一つに「ヘッドスライディング、ダイビングキャッチをしない」ことがあります。一つのファインプレーより、ケガによる欠場や長期離脱を防ぐためと言われていています。結果、試合に出続けることで、数々の記録を残しました。

令和2年4月に障害者雇用促進法一部改正、令和3年4月には民間企業の法定雇用率が2.3%に引き上げられます。障害者の雇用機会に変化がある中、事業所の人事担当者との雇用相談をする際、必ず欠席日数を確認されます。高等部3年間で10日が一つの目安として挙げられます。特に高1の欠席が多いと要注意です。中学校から高校への進学は環境の変化が大きいです。就職後も新しい環境に適応できず、すぐ欠勤するのではないかと懸念されるのが理由です。苦手教科は学習を頑張れば成績を上げることが可能です。しかし、過去の欠席を出席にすることはできません。

イチロー選手は引退会見で「後悔などあろうはずない」と言い切りました。いざ就職活動を始めた際、「あの時こうしていれば…」ということがないように、生徒には体調管理をしっかりし、日々の学習に励むことを期待します。



今年度の卒業生・修了生は、幼稚部ゆり組2名、中学部3年生5名、高等部3年生1名です。4月からは進学、就職とそれぞれの道に進みます。

小川優士さんから、社会人になるにあたっての意気込みのメッセージをいただきましたので、紹介いたします。



学校生活の中で一番多かった失敗は「分からない事をそのままにして誰にも聞かなかた」ことです。

分からないことはすぐに聞くことを今後モチがけていきたいです。また、常にメモ帳を持ち歩き、書くメモできるようにしたいです。

周りから信頼される社会人を目指して4月からの仕事を頑張ります。

小川 優士



**目指せ！
カッコいい社会人！**

発行内容、お問い合わせについて

進路指導部報「しんろだより～道～」は、保護者の皆様へ進路に関するたくさんの情報をお伝えしていきます。学校ホームページにも掲載しておりますので、どうぞご覧になってください。

(ホームページURL：<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/chokaku-s/>)

他にも進路に関して知りたい情報や疑問等がございましたら、お気軽に校長、教頭、担任、進路指導部員にお話してください。